令和３年度　地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進　成果概要

特定非営利活動法人ポラリス（所在地：宮城県山元町）

事業名

「山元こぐまサロン」を活用した障害者の学びの場 共創プロジェクト

主な連携先

山元町（保健福祉課・生涯学習課）/　東北福祉大学
山元町障害者地域活動支援センターやすらぎ

主な対象

主に就労支援を利用している知的・発達・精神障害者等（20代から70代）

事業の趣旨・目的

共に学び、共に生きる共生社会へ。「学び」を楽しく共創しよう。
〇町×NPO×地域　〇学び×福祉　　〇学び続けることができる町づくり
〇しなやかで優しい文化のある町づくり

事業実施体制

連携協議会･･･大学教員、特別支援学校教員、教育委員会、福祉課、
基幹相談支援事業所、保護者の会、当事者会、
地域の企業・団体等の立場の12名＋ワーキンググループ8名
コーディネーター･･･NPO代表（社会教育主事・精神保健福祉士）

学習プログラムの内容

1.町の人と学ぼう（全8回）
町・警察・町内で働くインド人・ハーブ園・スーパー・文化財保護団体
音楽サークル・当事者らが講師となり、地域の人と楽しく学び合う
2.ゆるっと哲学～地球のこと（全4回）
ロバのいる古本屋スローバブックス店長と、地球規模で考えあう時間
3.ICT体験倶楽部（全8回）
ICT(動画配信)を活用した社会発信の体験学習
4.みんなはどうしてる？（全4回）
最近気になっている「お金の使い方」「友達付き合い」「異性とのお付き合い」について、みんなはどうしているか話し合う
5.保護者カフェ（全8回）
保護者の傾聴力アップ＆ピアサポートの場

研究の成果と課題

こぐまサロンが生んだ価値
①当事者性の探求
②学びのレディネスを育む
③社会教育施設の活用
④ユニバーサルな学びの場
⑤家族の変容を追いかけていく場
⑥学び、そして共生社会の共創

今後に向けて
①当事者が更に主体的に学び合える
②町と連携し持続可能な学びの場へ
③オープン＆クローズの開催
④内容に合わせて会場を増やす
⑤保護者カフェは町事業で開催
⑥地域をより巻き込み学び合う

インドのお兄さんに質問

動画の素材づくり

相談支援専門員も学ぶ

その他研究の詳細など

http://polaris-yamamoto.com/
ポラリス
HP

NPO法人ポラリスHP：http://polaris-yamamoto.com
ポラリスチャンネル
https://www.youtube.com/channel/UC4i7-kj6Uypx8AJVnAkmjqA/featured
共生社会コンファレンス(東北ブロック)
https://www.youtube.com/watch?v=9wogA7cr6C0